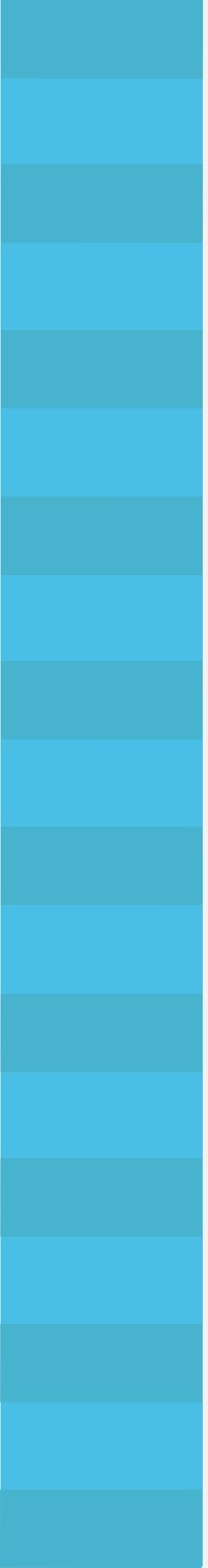




**2021年12月期第2四半期  
決算説明資料**

**株式会社スペースマーケット  
(東証マザーズ:4487)**

2021年8月6日



# 会社概要

事業の概要

決算の報告

トピックス

今後の方針

**会社名** 株式会社スペースマーケット  
**所在地** 東京都渋谷区

**設立年月日** 2014年1月  
**従業員数** 61名 ※2021年6月30日現在



**重松 大輔** 代表取締役社長

早稲田大学法学部卒。2000年NTT東日本に入社。主に法人営業企画、プロモーション等を担当。2006年フォトクリエイイトに入社。一貫して新規事業、広報、採用に従事。国内外企業とのアライアンス実績多数。2014年1月にスペースマーケットを創業。2016年1月に一般社団法人シェアリングエコノミー協会を設立、代表理事に就任。



**徳光 悠太** 取締役兼執行役員CFO

立命館大学卒。公認会計士・税理士・USCPA合格者。EY新日本有限責任監査法人にて監査業務に従事後、東南アジアのコンサルティングファームに入社。2014年よりディー・エヌ・エーにおいて経営企画、M&A後のPMI業務等に従事。2016年に独立開業。同年スペースマーケットに参画、社外監査役を経て2021年3月より取締役に就任。



**須田 将啓** 社外取締役

慶應義塾大学院修了。2004年エニグモを創業。2005年にソーシャル・ショッピング・サイトBUYMAを開始。2012年に東証マザーズ上場。その後英語版BUYMAを開始、グローバル事業展開を行い、2018年に旅行事業に参入。2019年に東証一部上場。



**寺田 修輔** 社外取締役

東京大学経済学部卒。CFA協会認定証券アナリスト。2009年シティグループ証券に入社。不動産業界の株式調査業務、財務アドバイザー業務等に従事。2016年じげんに入社、取締役執行役員CFOとして投資戦略、財務戦略、経営企画の統括や東証一部への市場変更等を牽引。2020年よりミダスキャピタルに取締役パートナーとして参画。



**石原 遥平** 取締役(監査等委員長)

慶應義塾大学大学院法務研究科修了。弁護士法人淀屋橋・山上合同にて幅広く法務に従事。2016年から2020年までスペースマーケットに出向、法務に限らずビジネススキームの策定、資金調達、内部監査、上場業務等を担当。同社General Counselを経て2021年3月より取締役(監査等委員)就任。



**田中 優子** 社外取締役(監査等委員)

東京大学法学部卒。トヨタ自動車にてマーケティング、ジュピターショップチャンネルで経営企画、事業開発などを担当。A.T.カーニーの消費財・サービスプラクティスマネージャーとして、大企業向けコンサルティングに従事。2014年、クラウドワークスに参画。執行役員として東証マザーズ上場を経験。2019年より同社取締役に就任。



**松本 一範** 社外取締役(監査等委員)

東京大学大学院法学政治学研究科修士課程修了。NEC、外資系半導体メーカーにて企業再建等に従事。2011年よりディー・エヌ・エーにてM&A、ガバナンス強化等に従事。2018年より横浜DeNAベイスターズに出向、2021年4月より同社常務取締役コーポレート本部長に就任。横浜スタジアム専務取締役総務部長を兼任。

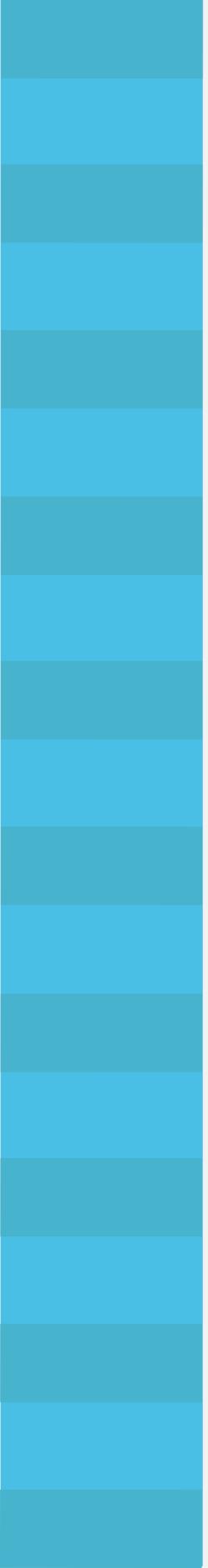
**ビジョン** チャレンジを生み出し、世の中を面白くする

**ミッション** スペースシェアをあたりまえに

「何かやりたい」と踏み出すその一歩は、どんなに小さなことでもチャレンジです。

私たちは、スペースシェアをあたりまえの選択肢にすることで人々の発想を広げ、

多様なチャレンジを生み出し、世の中を面白くしたいと考えています。



会社概要

**事業の概要**

---

決算の報告

トピックス

今後の方針

## スペースマーケット事業

スペースシェアをあたりまえの選択肢にするために

### シェアリングエコノミープラットフォームの運営

あらゆるスペースを15分単位で貸し借りできる



働くシーンに特化したスペースを貸し借りできる



豊富なスペースの知識でクライアントを支援

### 法人向けソリューション

社内外イベントのプロデュース  
実行支援サービス

### イベントプロデュース

プラットフォームの豊富なスペースを  
広告媒体として活用

### プロモーション支援

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、創業来成長を継続しています。

■ + ■ 全社総取扱高

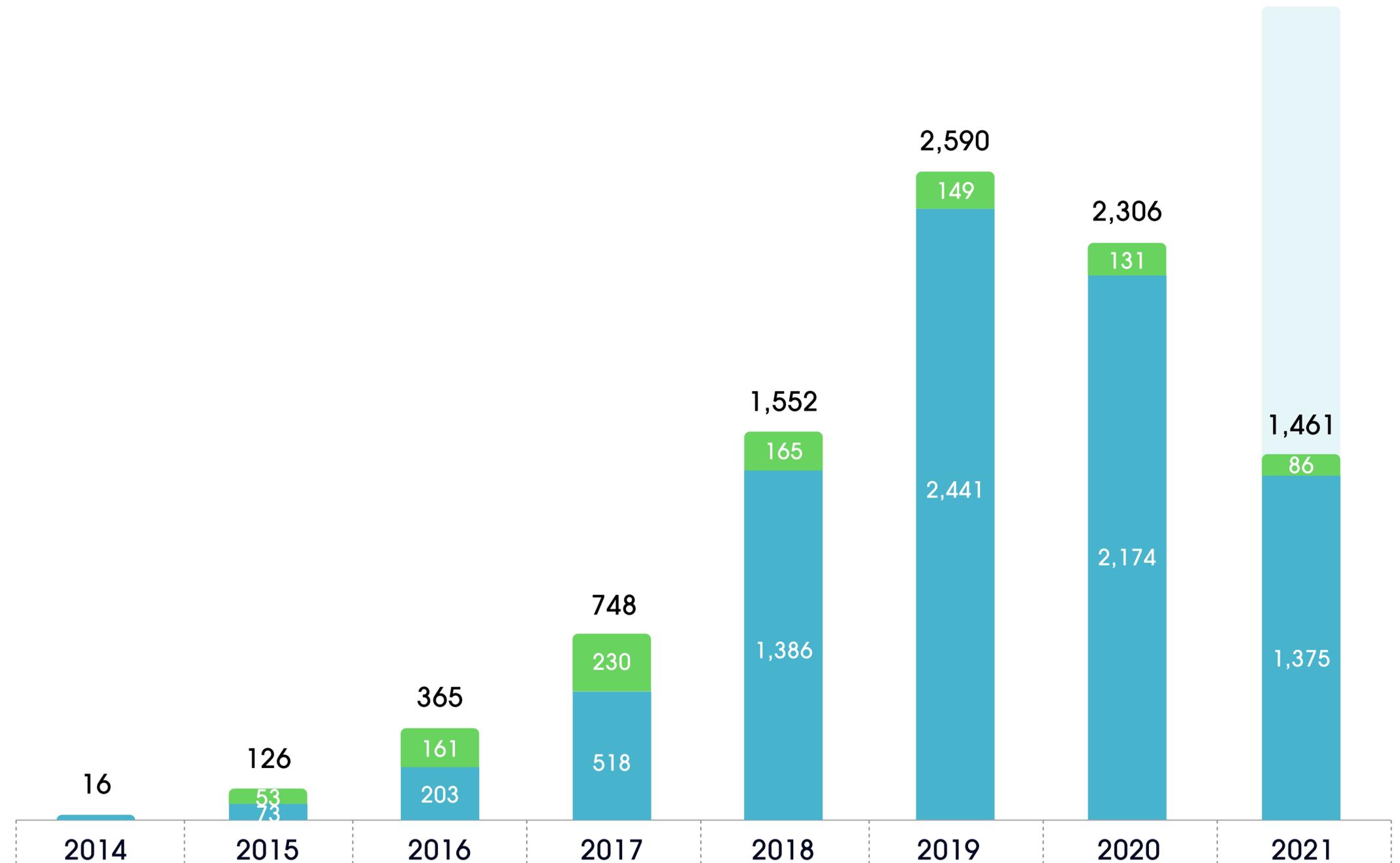
■ GMV※

■ 法人向けソリューション他

(百万円)

(※) プラットフォーム利用金額の総額  
(Gross Merchandise Value)

(注) 2014年度から2016年度の数値は  
公認会計士又は監査法人の監査の対象外



スペースシェアをあたりまえの選択肢にするために、シェアリングエコノミープラットフォームの運営を行っています。

あらゆるスペースを15分単位で貸し借りできる



掲載  
スペース数  
**15,400件**※

(※) 2021年7月現在

働くシーンに特化したスペースを  
貸し借りできる



スペースを借りたい「ゲスト」と、スペースを貸したい「ホスト」をマッチング。双方から手数料をいただきます。

パーティーや会議、  
撮影に使う  
場所を借りたい!



## ゲスト

(※) 予約時にクレジットカードの利用枠が確保され、予約承認後に決済が行われます。後払いなど、その他決済手段もあります。

2 検索

3 予約

4 決済※

¥

利用料 + 手数料

利用料の  
5%

**SPACEMARKET**  
 **SPACEMARKET WORK**



1 掲載

5 予約承認

7 支払

¥

利用料 - 手数料

利用料の  
30%

6 スペースの利用 / 提供

自分の持つ  
空きスペースを  
有効活用したい!



## ホスト

スペースマーケットに掲載されているスペースは全国47都道府県にわたり、住宅や会議室からユニークなスペースまで種類も豊富です。

## SPACEMARKET



住宅



飲食店



スポーツ施設



映画館

## SPACEMARKET WORK



会議室



スタジオ



結婚式場



ユニークなスペース



ホテル



オフィス

業界有数の種類と掲載数でゲストのさまざまな用途に対応。スペースマーケットを利用した新しい「場所での体験」が生まれています。



## パーティー 飲み会

女子会・ママ会  
誕生日会  
料理  
バーベキュー



## 撮影・収録

写真撮影  
動画撮影  
テレビ収録  
YouTube収録



## 趣味・遊び

ボードゲーム  
スポーツ観戦  
オフ会・交流会  
映画上映



## スポーツ フィットネス

トレーニング  
ピラティス  
ヨガ、ダンス  
個別レッスン



## 仕事

会議  
オフサイトミーティング  
テレワーク  
サテライトオフィス

下記の世の中の流れにより、スペースシェアの市場環境は追い風にあると考えています。

サステナビリティの  
考えが世の中に浸透

## 1 遊休スペースの活用が 求められる社会に

サステナビリティの考えが世の中に浸透。空き家・空きビルなどの遊休スペースを活用し、持続可能な社会を実現することが求められるようになりました。

年単位から  
月・週・時間単位へ

## 2 短期間の所有・利用が 求められる時代に

多様性が認められる社会への変化により、場所の所有・利用シーンも多様化。今までより短い期間での場所の所有・利用が求められる時代になりました。

リアルな場所の  
重要性を改めて認識

## 3 どんな時代においても 「場所」の必要性は不変

時代がどのように変化しても、「はたらく」「あそぶ」「くらす」のあらゆるシーンにおいて場所の必要性は不変であり、重要であることが改めて認識されました。

# スペースシェアの市場環境は追い風

スペースシェアの市場は、中長期で約2.7兆円規模と試算しています。

当社は、スペースシェアのリーディングカンパニーとして、この市場でトップシェアを獲得していきたいと考えています。



※1 出所：国土交通省建築物ストック統計より当社試算（68億㎡＝住宅総面積 57億㎡＋工場・倉庫除く非住宅総面積 11億㎡） ※2 直近の当社利用スペースより試算

※3 出所：MIKI OFFICE REPORT TOKYO 2021 ※4 2020年度の当社の月間GMV/SP

豊富なスペースの知識でクライアントを支援するため、以下のサービスを提供しています。

## イベントプロデュース

スペースマーケットに掲載されているスペース等を利用して、法人向けイベントの企画・プロデュース、当日の運営等を支援



オンライン  
イベントの  
開催も支援



## プロモーション支援

スペースマーケットに掲載されているスペースを広告媒体として活用することで企業のプロモーションを支援



**KIRIN**

パーティー開催者に  
新商品のドリンクを提供



**Panasonic**

システムキッチンを実際に  
体験できるスペースを制作

## 1 スペースシェアのリーディングカンパニーだからこそその 業界トップのスペースシェアノウハウ

当社は日本国内のスペースシェアのリーディングカンパニーとして、スペースシェアという新しい文化を一から創造してきました。そのため、創業来蓄積してきたスペースシェア事業に関するノウハウの量は業界トップです。

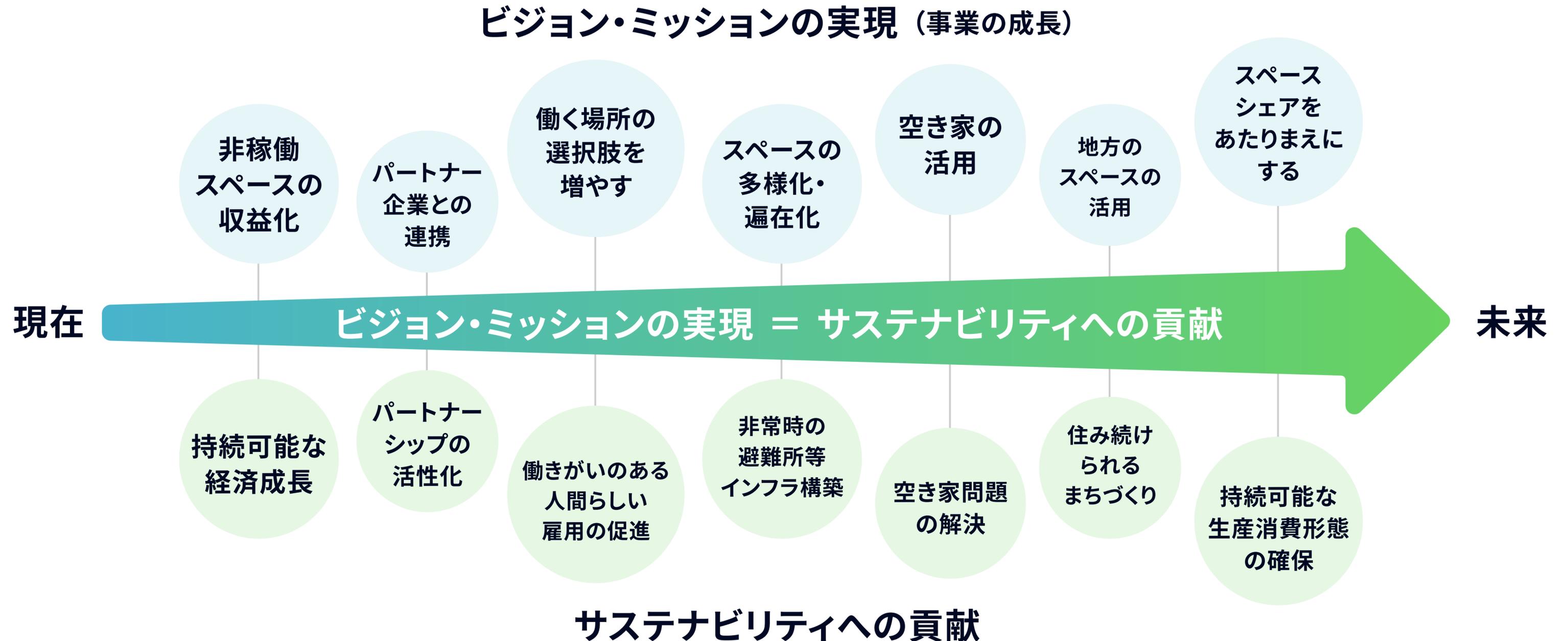
## 2 ホスト・ゲスト・自治体・大手企業など 同じ課題を持つ仲間との連携・共創

スペースシェアの文化を広げるため、創業時からホスト・ゲスト・自治体・大手企業等とともに、同じ課題を持つ仲間として連携・共創を行ってきました。当社の力だけでなく、仲間たちの自律的なはたらきによっても成長が期待できます。

## 3 「業界有数の掲載数」×「多様な利用用途」から生まれる 幅広い角度からの成長可能性

「業界有数の掲載数」×「多様な利用用途」により生まれる新しい体験やニーズは無限大で、ジャンルを問いません。その体験やニーズの中から成長可能性のある分野を見つけることで、幅広い角度から成長を加速させることができます。

当社の事業を成長させ、ビジョン・ミッションを実現することは、同時にサステナビリティへの貢献にもつながると考えています。

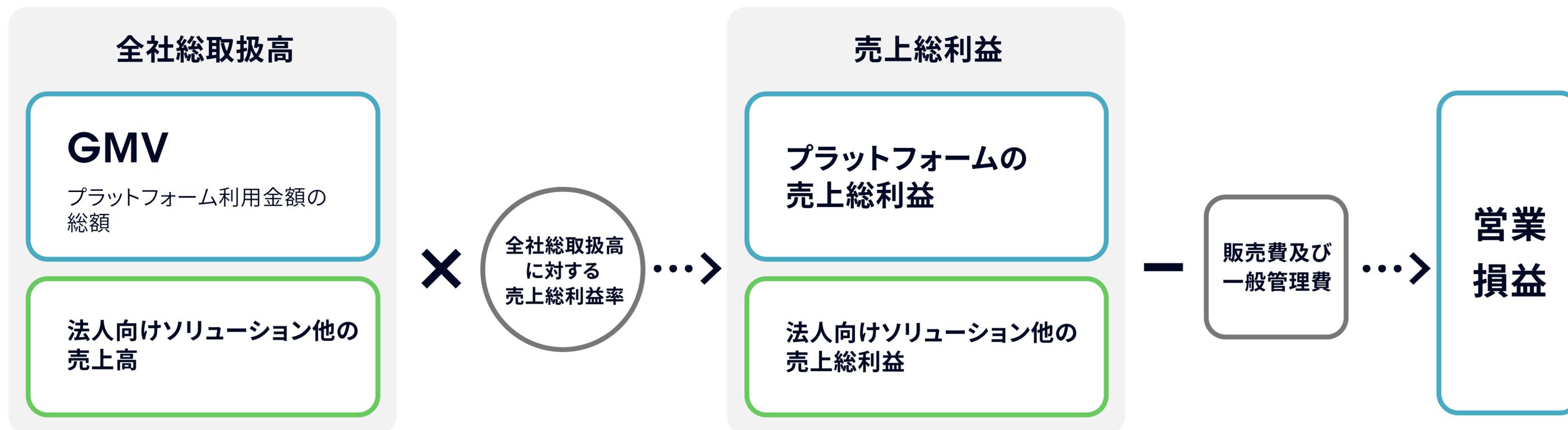


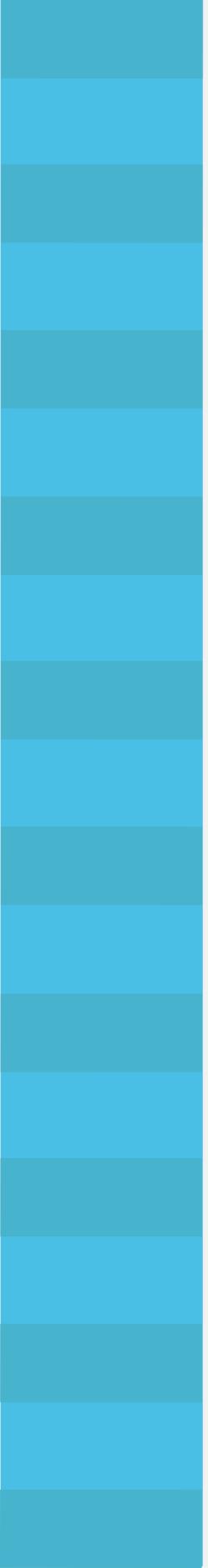
当社の主要KPIと財務の構造です。

## 主要 KPI



## 財務





会社概要

事業の概要

**決算の報告**

トピックス

今後の方針

GMV  
前年同期比  
**+48.4%**  
(2Q累計)

GMV  
前四半期比  
**+19.4%**  
(2Q会計)

緊急事態宣言等が続く厳しい環境でしたが、  
コロナ禍でも変わらないニーズ、  
コロナ禍ならではのニーズを捉えることで、  
**GMVの大きな成長につなげることができました**

### 主要KPI

月間利用スペース数は継続して増加し、**過去最高**に！

コロナ禍により増加した少人数利用のGMVも引き続き好調、**過去最高**に！

東京都以外のエリアのGMVも**過去最高**に！

### 財務

GMVの成長にともなう粗利増加により、前四半期比・前年同期比で**増益**。

上期の状況を踏まえて通期予想を開示、下期より連結決算へ移行。

2021年度通期予想 **売上高 1,207百万円**(参考:2020年単体業績比+50.0%)、営業黒字。

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた2020年第2四半期以降、業績は回復傾向にあり、前年同期比では大きく増収増益となりました。

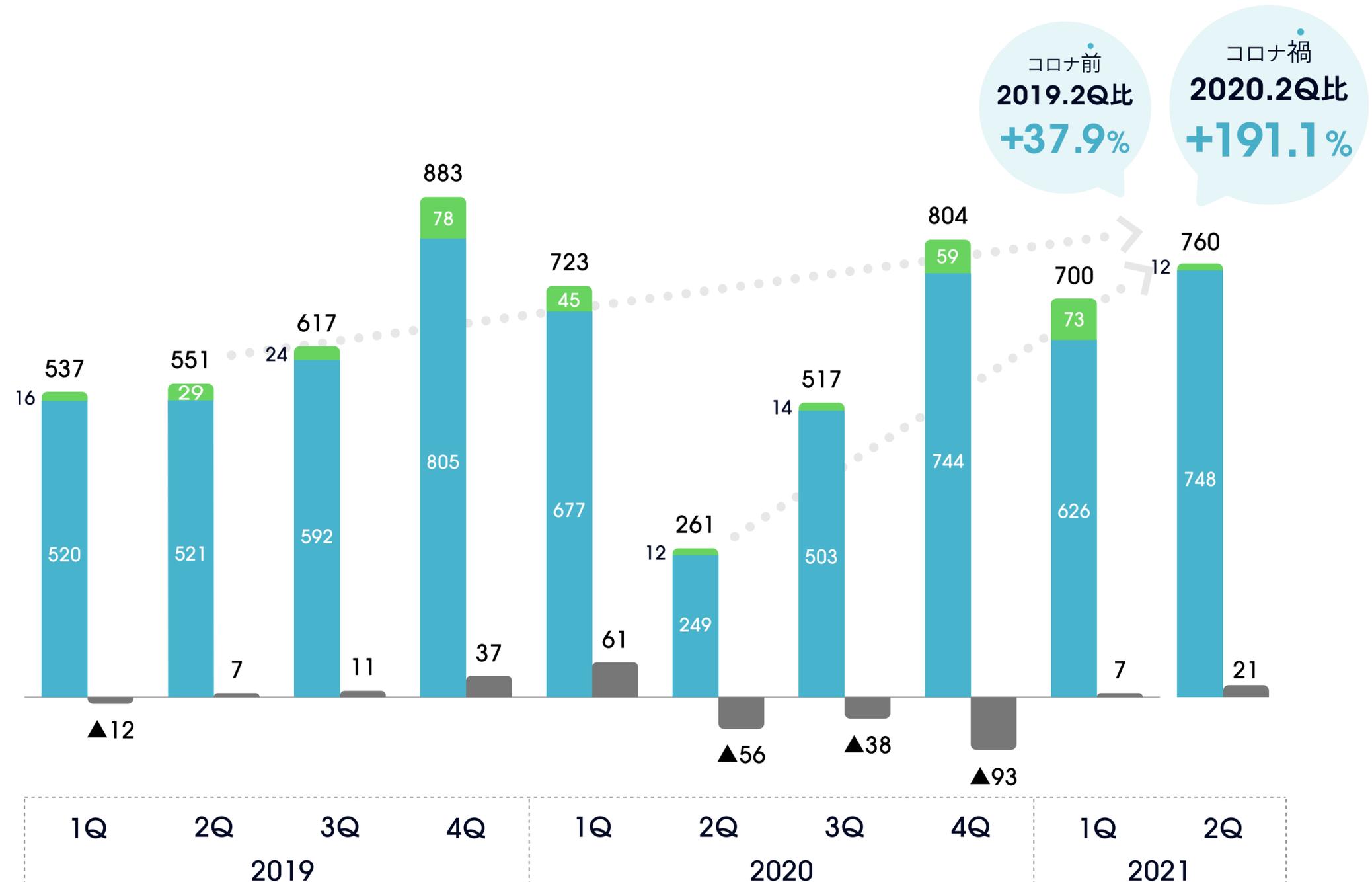
(百万円)

	2020年 第2四半期 (累計)	2021年 第2四半期 (累計)	前年同期比	(参考)2021年 第2四半期(会計)
全社総取扱高	984	1,461	+48.5%	760
うちGMV	926	1,375	+48.4%	748
売上高	348	503	+44.7%	240
うちプラットフォーム	290	417	+43.7%	227
(テイクレート)	31.4%	30.4%	▲1.0pt	30.4%
売上総利益	238	357	+50.0%	194
全社総取扱高に対する 売上総利益率	24.2%	24.4%	+0.2pt	25.5%
販管費	232	328	+41.0%	172
営業利益	5	28	+434.6%	21
純利益	2	27	+875.7%	17

期初方針通り、四半期単位でのGMVの成長を継続しており、コロナ前である前々年同期比、コロナ禍である前年同期比ともに大きく成長しています。オフィス移転にともない賃料が増加しましたが、GMV増加にともなう粗利の増加が上回ったため、営業利益は増加しました。

- + ■ 全社総取扱高
- GMV※
- 法人向けソリューション他

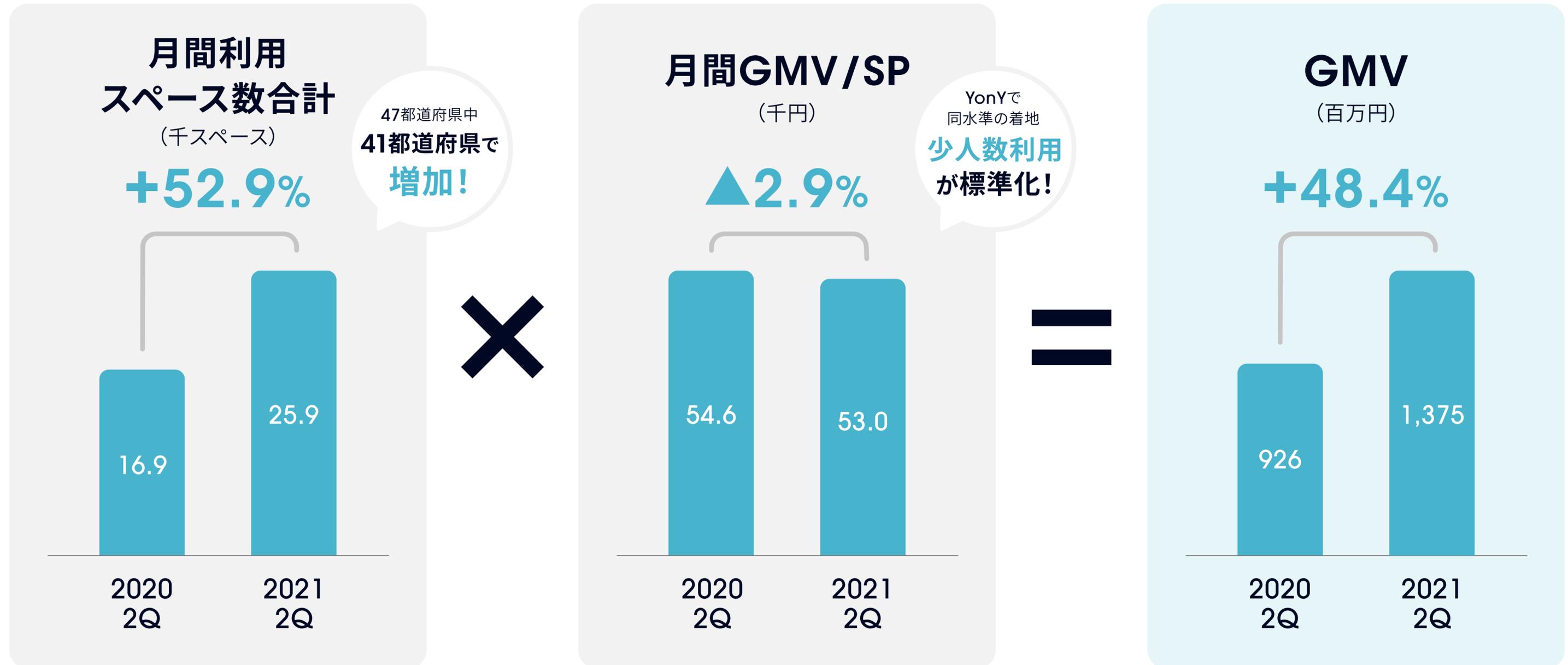
■ 営業損益  
(百万円)



(※) プラットフォーム利用金額の総額  
(Gross Merchandise Value)

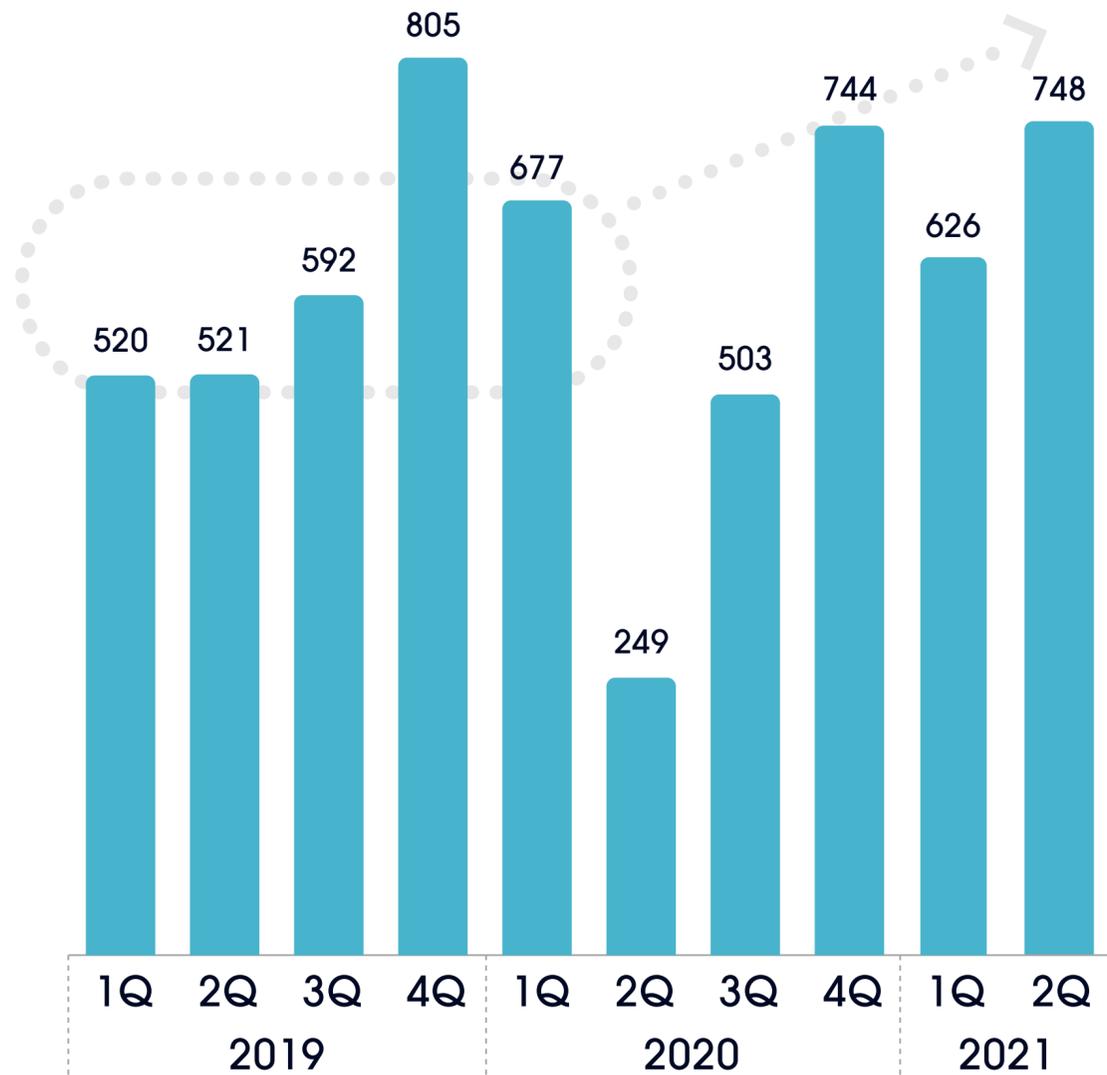
月間利用スペース数合計は、スペースシェアの認知拡大により、47都道府県中41都道府県で増加という好調な結果となりました。

月間GMV/SPは、少人数での利用が増加した前年同期と同水準の着地となり、少人数での利用が標準化してきたことがうかがえます。



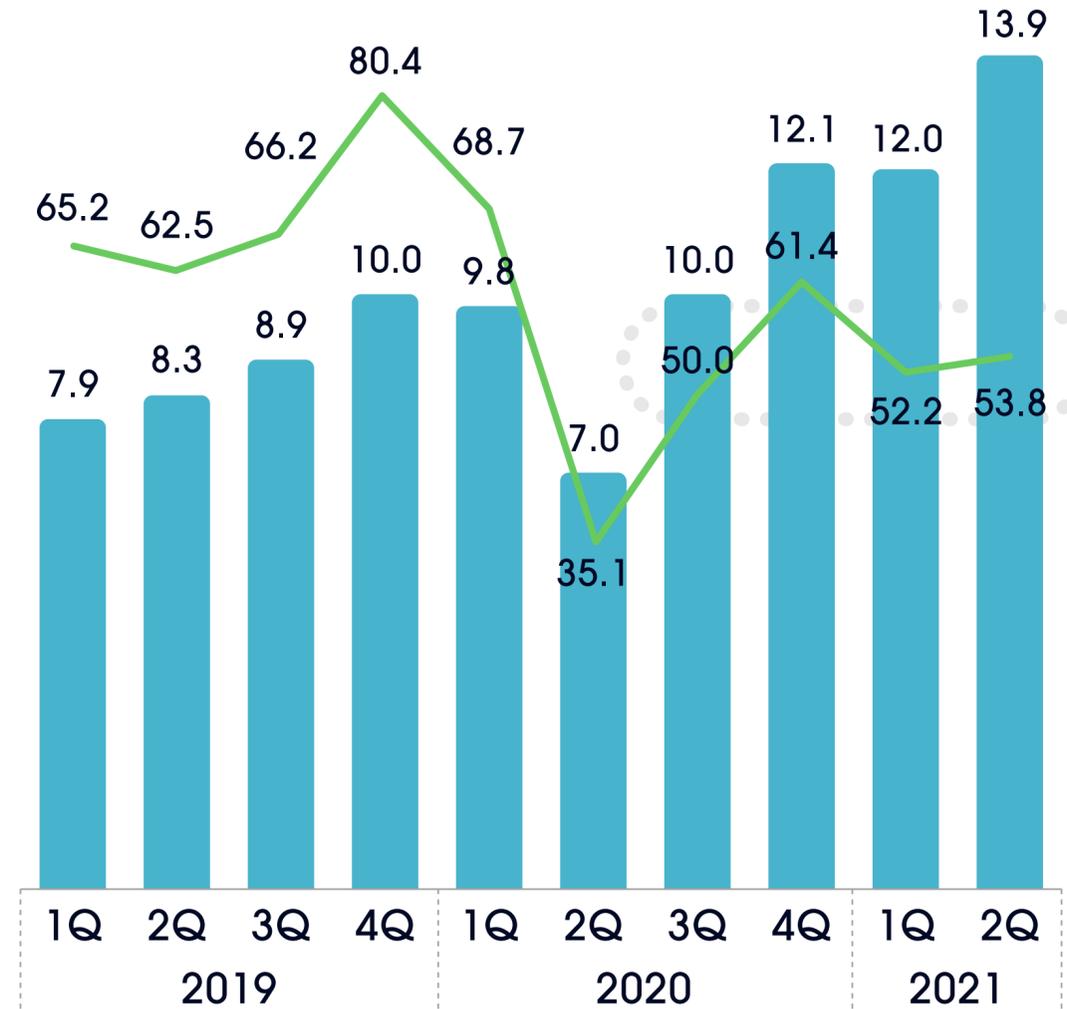
月間利用スペース数合計は、スペースシェアの認知拡大により引き続き増加し、過去最高となりました。月間GMV/SPは、大人数利用が減少した前年同期以降、同水準の推移が続いています。GMVは、コロナ前の水準を超える結果となりました。

■ GMV (百万円)



コロナ前の水準を超える!

■ 月間利用スペース数合計 (千スペース)  
■ 月間GMV/SP (千円)



スペースシェアの認知拡大により過去最高!

コロナ禍での運営が一巡し同水準で推移

コロナ禍で好調なオンラインイベントの支援に加え、当四半期はコロナ禍となって以降初となるプロモーション支援も行いました。

オンライン  
イベント支援  
**好調!**

## 法人向けソリューション他の売上高構成と代表例

2021 86百万円

イベントプロデュース  
**77.8%**

その他  
**20.2%**

プロモーション支援  
**2.0%**



### ワークスモバイルジャパン株式会社 2021 LINE WORKS DAY

今後の戦略や先進的な活用事例などを紹介するカンファレンス。2,000名以上が参加。



### 学校法人近畿大学 報道関係者懇親会

新施設やコロナ禍での取り組みを紹介するオンライン記者会見。進行、撮影配信をサポート。

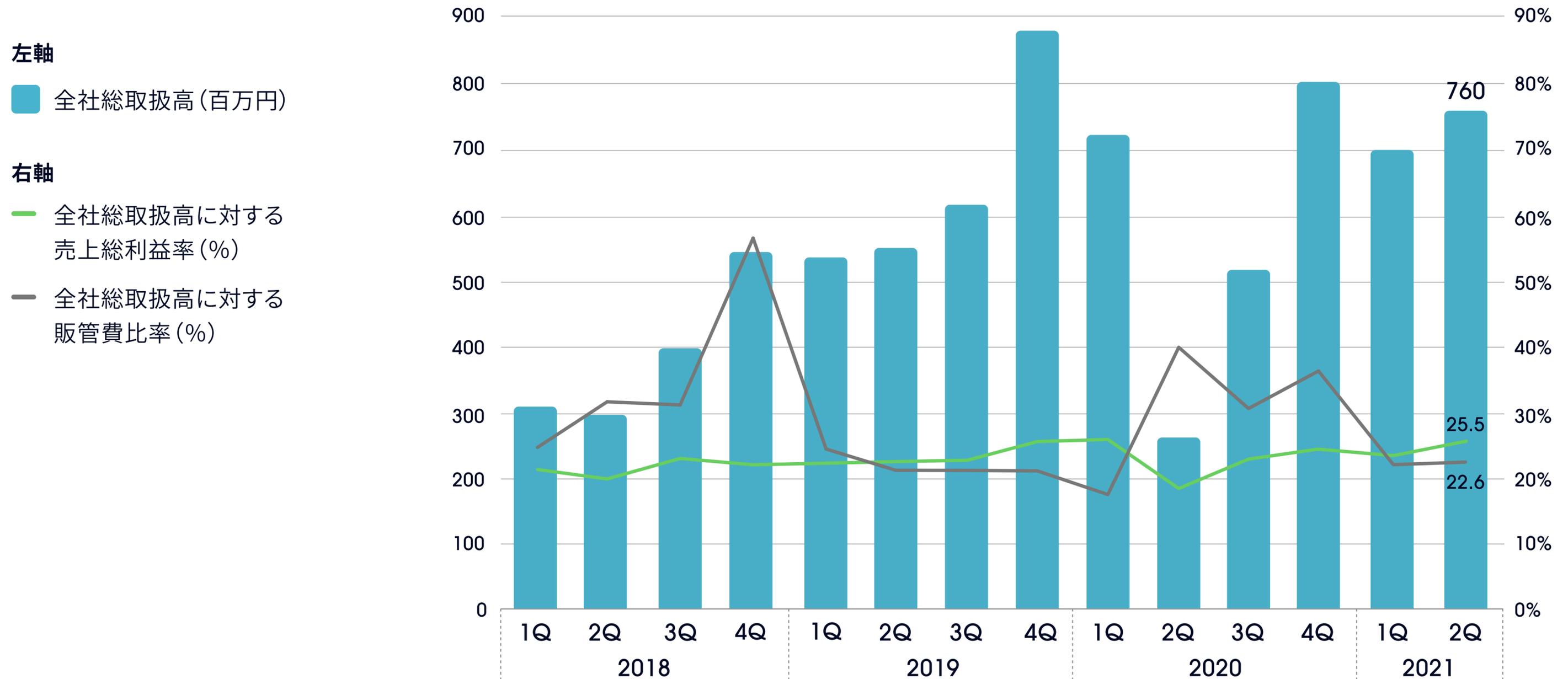


### アサヒビール株式会社 「ビアリー」プロモーション

新商品「ビアリー」の体験施策として、全国のスペースに冷やしたビアリーを用意、ゲストにその場で楽しんでいただくサンプリングを実施。

売上総利益率は、GMVの増加にともない微増で推移しました。

オフィス移転にともない固定費が増加しましたが、販管費比率は同水準で推移しました。

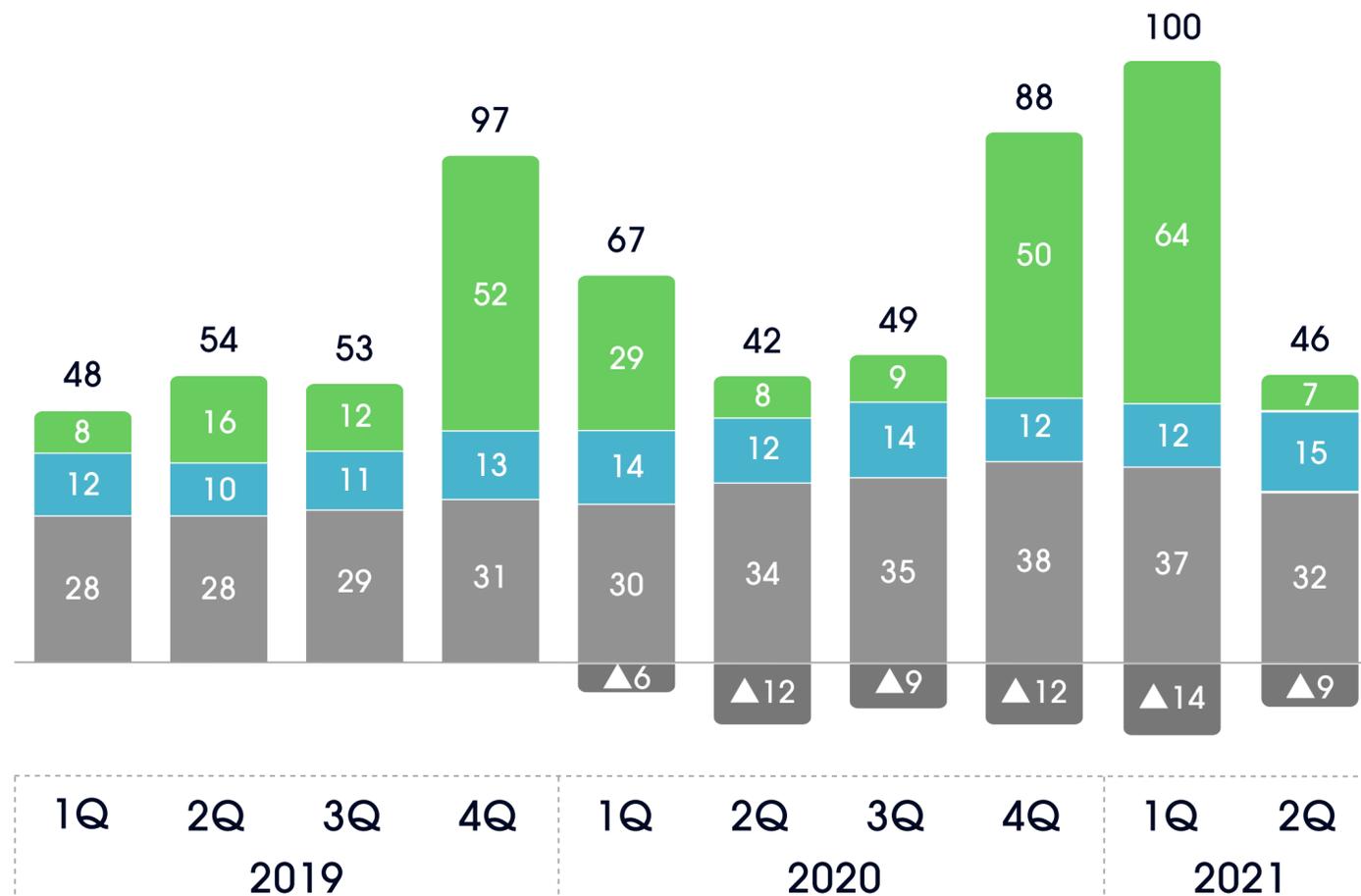


法人向けソリューションの売上に比例して、法人向けソリューション原価が減少しました。

オフィス移転にともない、その他の売上原価、その他の販管費が合計約10百万円増加しました(内 約2.5百万円が一時費用)。

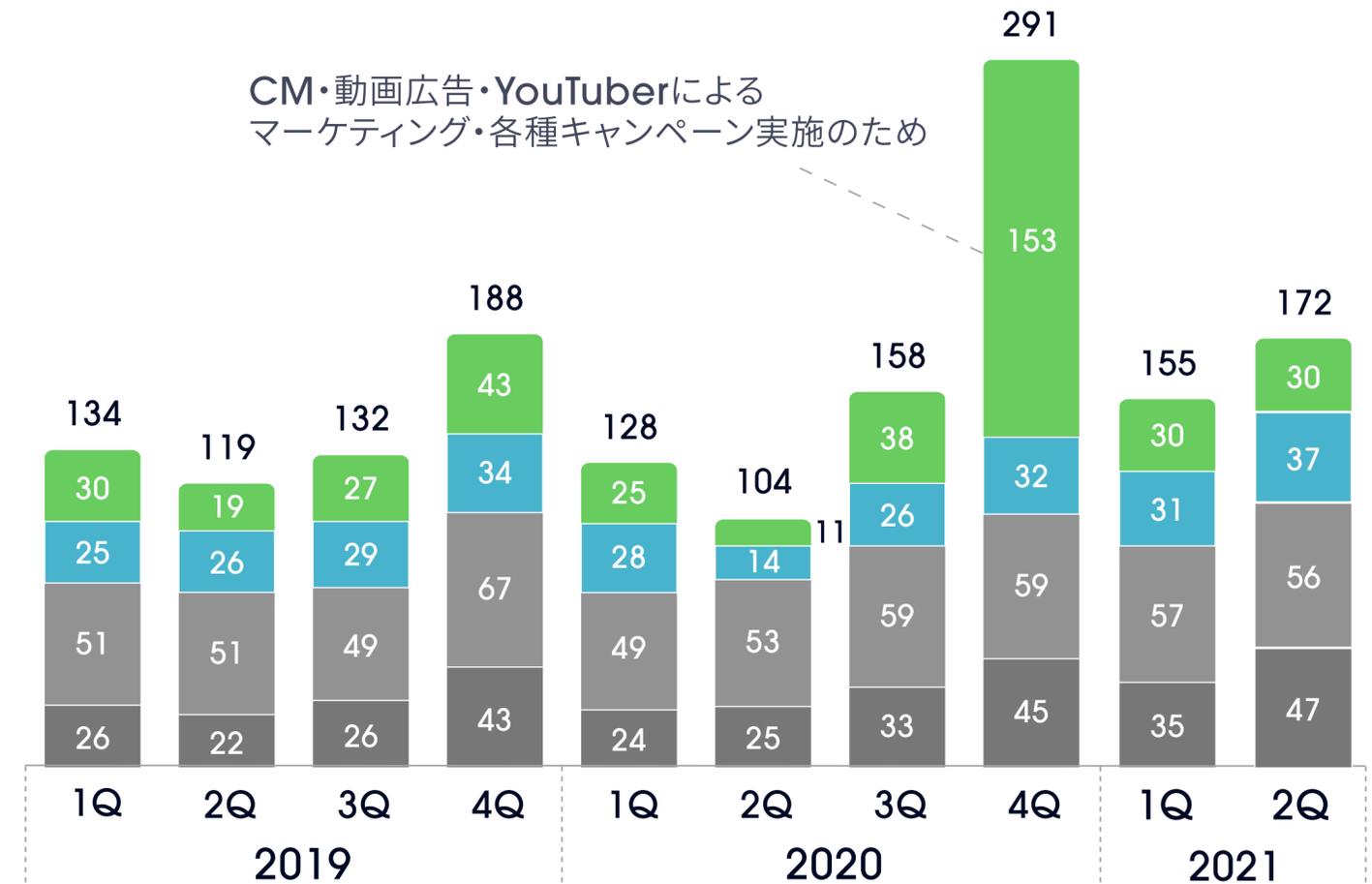
## 売上原価の推移 (百万円)

- 法人向けソリューション原価
- その他の売上原価
- 人件費
- 他勘定振替高※



## 販売費及び一般管理費の推移 (百万円)

- 広宣・販促費
- 支払手数料
- 人件費
- その他の販管費

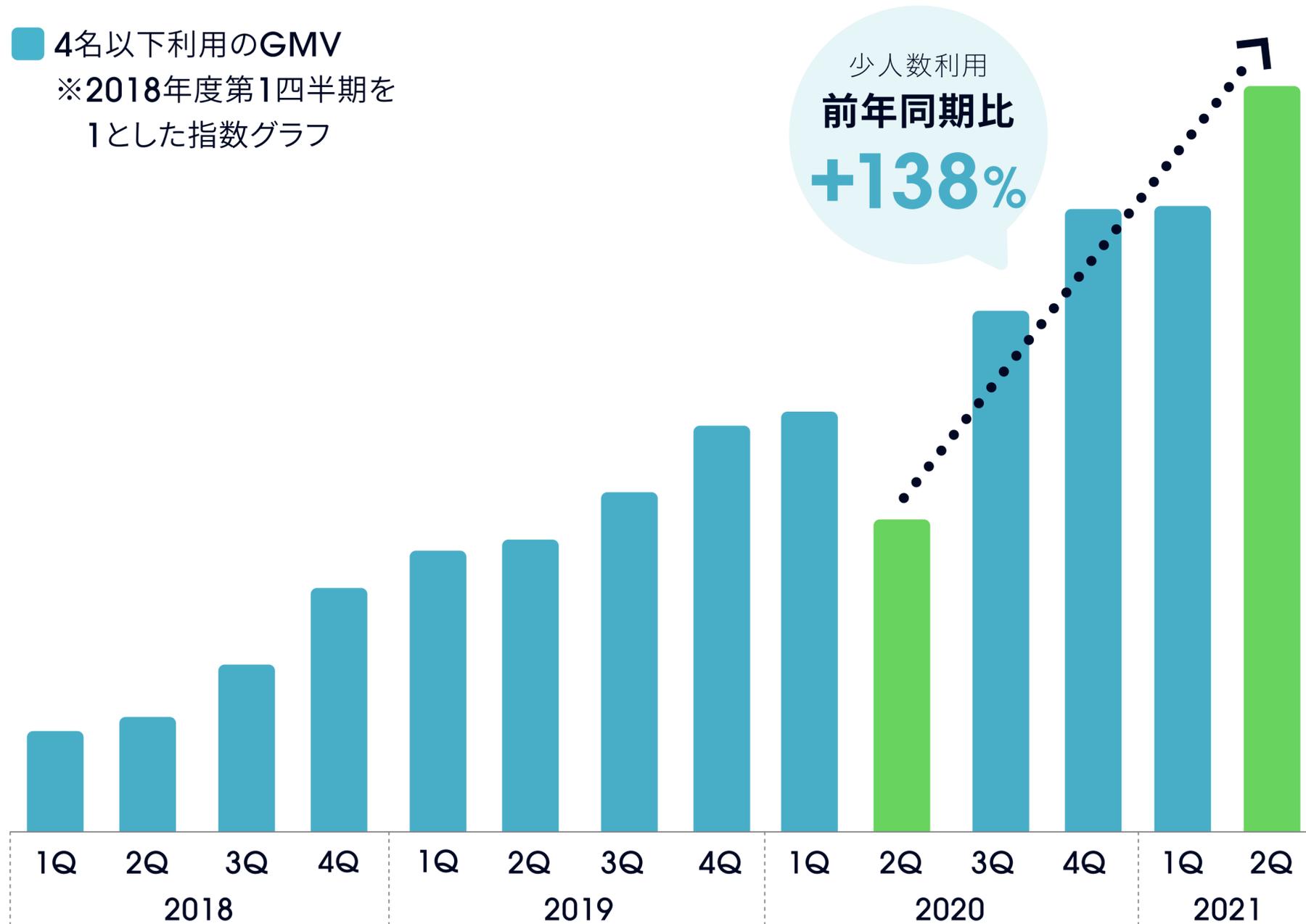


(※) ソフトウェア仮勘定及びソフトウェアの計上額

少人数利用のGMVは継続して成長しています。

当四半期は特に、オンライン面接、資格の勉強、少人数でのトレーニング・ダンスの練習、ネイリストやマッサージ師によるサロン利用等が好調でした。

■ 4名以下利用のGMV  
 ※2018年度第1四半期を  
 1とした指数グラフ



少人数利用  
 前年同期比  
**+138%**

## 予約時のメッセージ例

用途:勉強会 人数:1名



ゲスト

来月受験する**国家資格の勉強**のため、集中できる環境を作りたく予約しました。

用途:ダンス 人数:2名



ゲスト

子どもの**ダンスの個人レッスン**で使用したいと思っています。保護者一名も同伴させていただいて良いでしょうか。

用途:マッサージ・施術 人数:2名



ゲスト

フリーランスのネイリストです。緊急事態宣言中なので、貸し切りのレンタルサロンで**出張ネイルの施術**を行いたいと思っています。

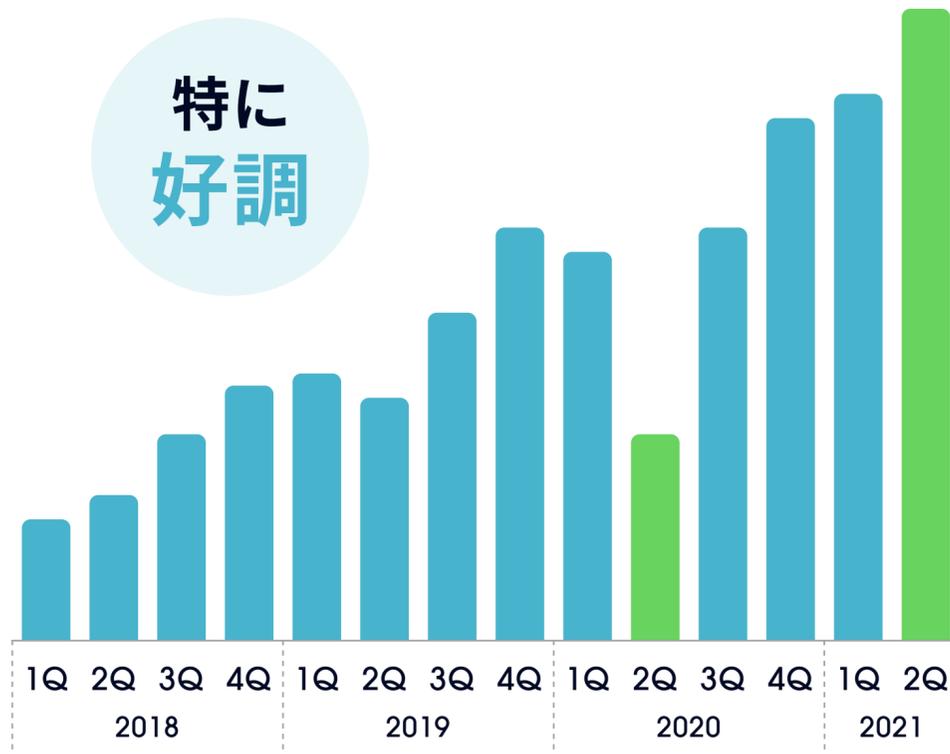
東京都以外のエリアのGMVは前四半期比・前年同期比ともに増加しており、当四半期は過去最高となりました。

■ GMV  
 ※2018年度第1四半期を  
 1とした指数グラフ

## 東京都以外のエリアのGMV合計 過去最高!

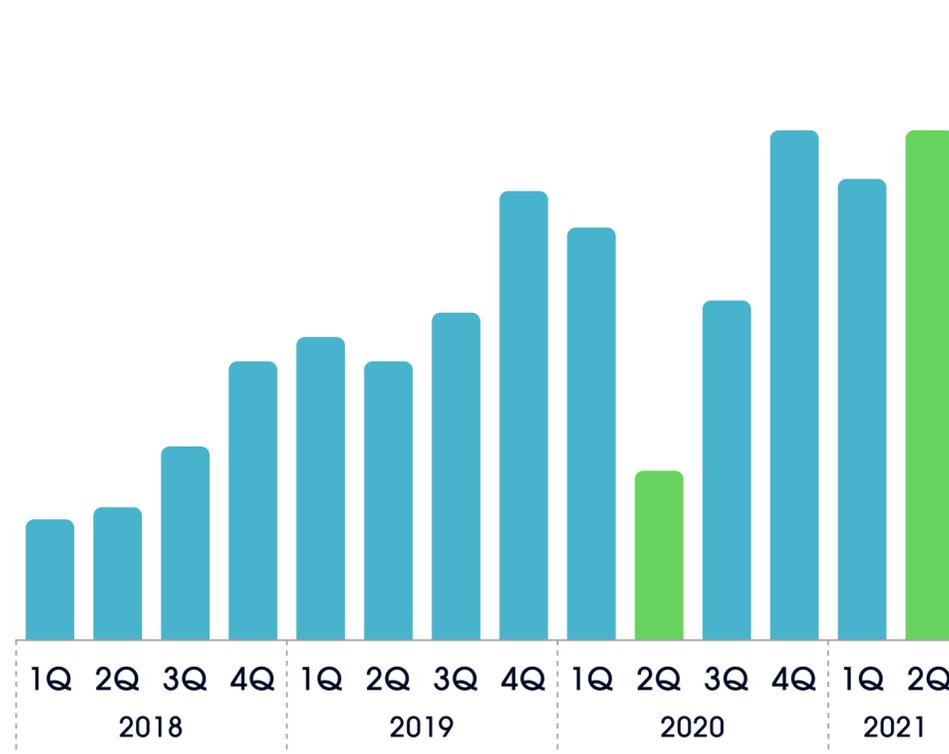
### 東京都以外の首都圏3県

(神奈川県・千葉県・埼玉県)



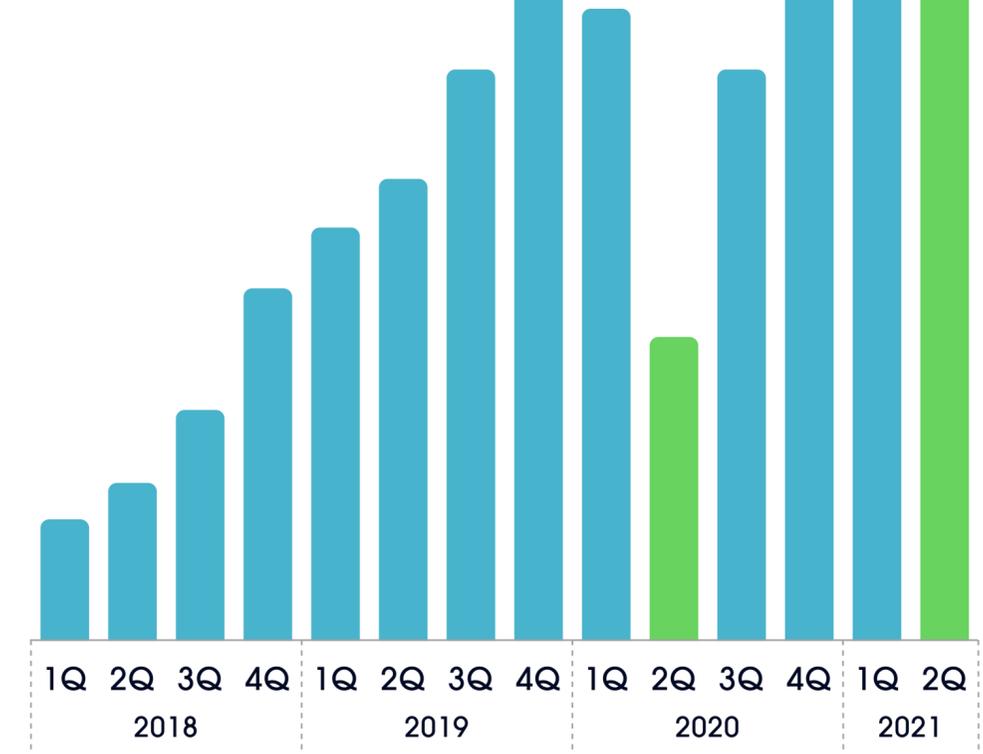
### 関西3府県

(大阪府・京都府・兵庫県)

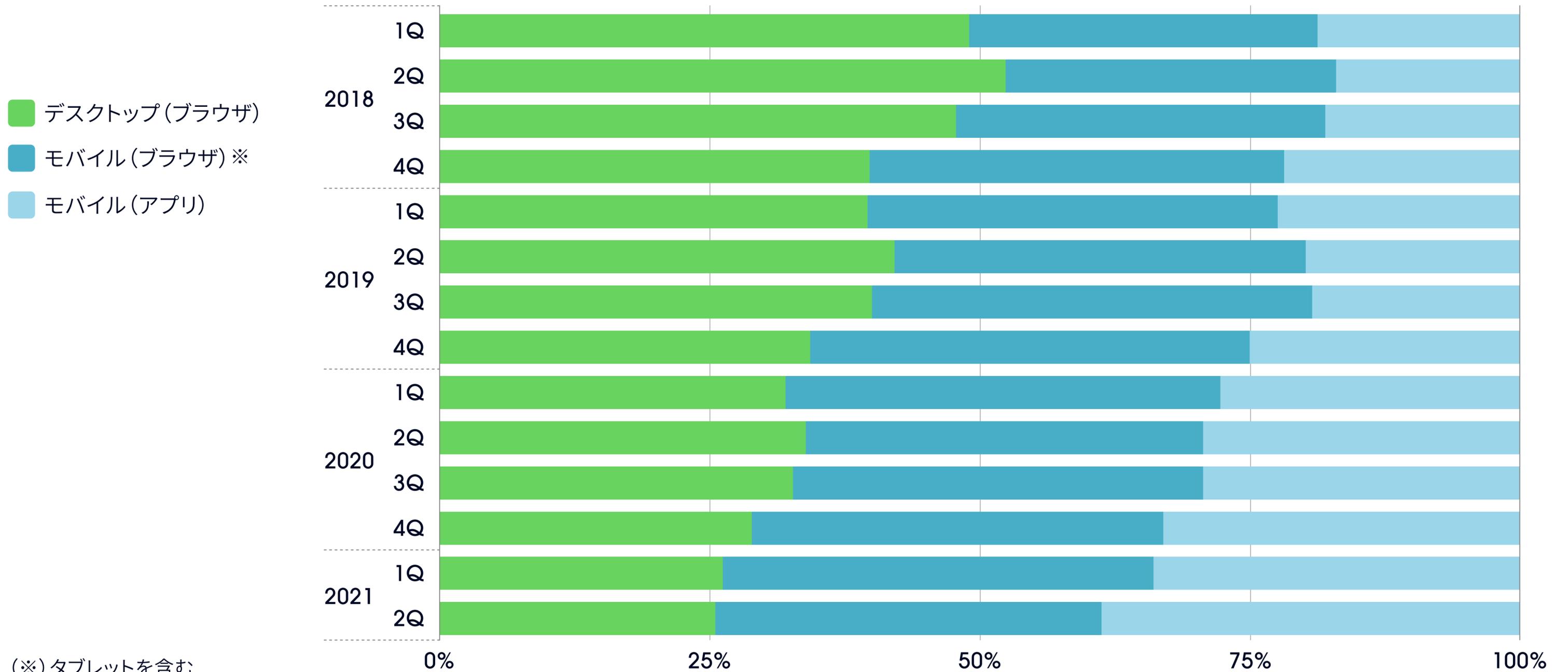


### それ以外の道県

(左記を除く1道39県)



ホスト・ゲストにとってより身近なサービスとなるために、モバイル(アプリ)の使い勝手向上に取り組んでいます。そのため、モバイル(アプリ)での利用比率は継続して増加しています。

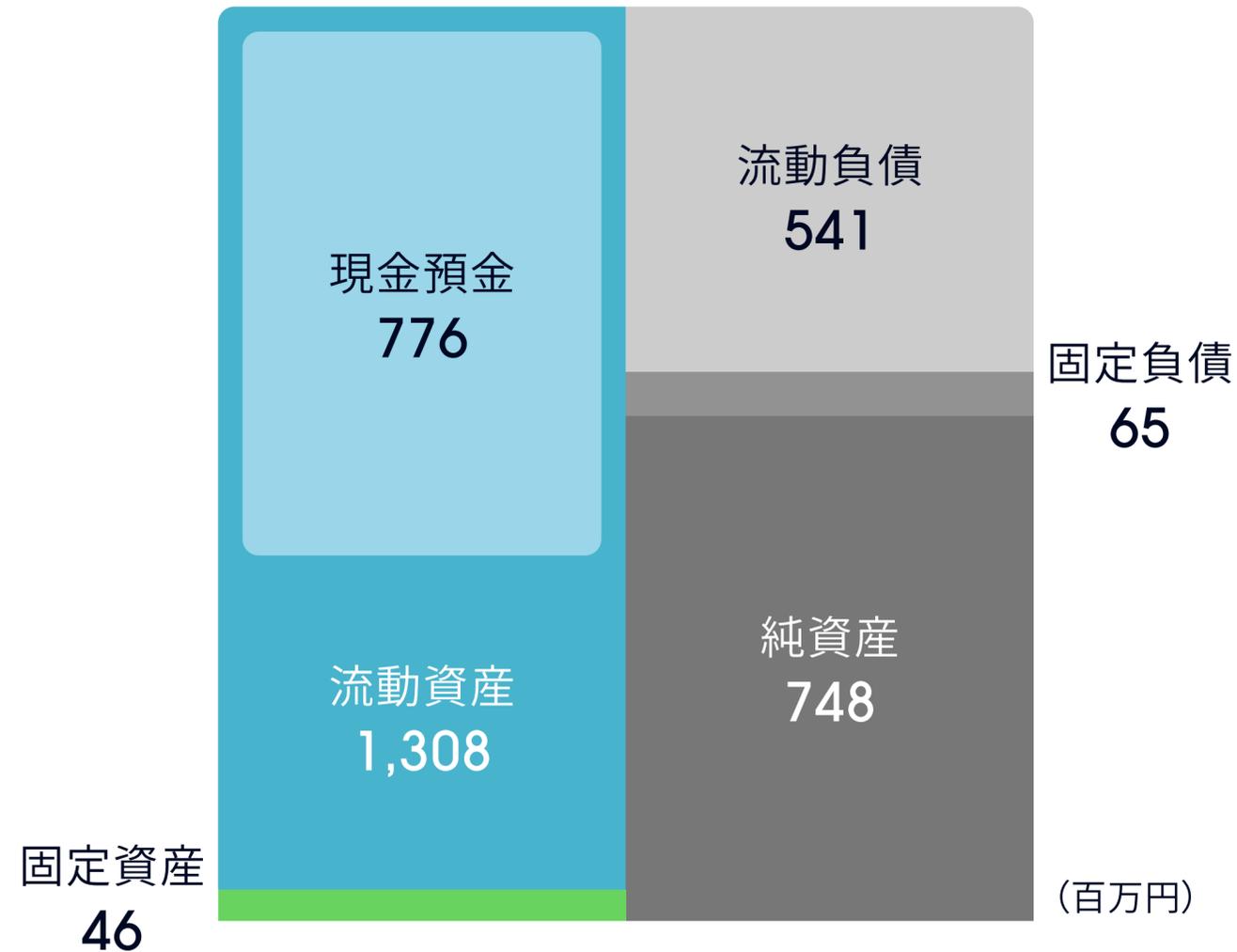


(※) タブレットを含む

借入金返済(約57百万円)およびオフィス移転関連の支出(約122百万円)により、現預金は前年度末から減少しました。

## 2020年度末

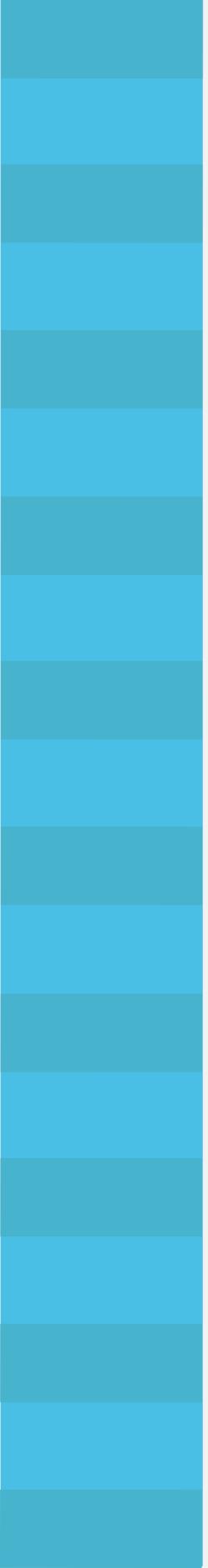
自己資本比率 55.2%



## 2021年度第2四半期末

自己資本比率 63.1%





会社概要

事業の概要

決算の報告

トピックス

今後の方針

2021年6月1日より、新宿区西新宿から渋谷区神宮前へと本社オフィスを移転しました。

オフィスの一部を社員以外も利用できるシェアスペースとすることで、ビジョン・ミッションの実現に一步近づく空間となりました。

## オフィスの一部を「スペースマーケット」に掲載 社員以外も利用できるシェアスペースに

テレワークで  
出社率の下がった  
オフィスの  
収益化

利用者との  
新しい  
出会いの  
創出

自らがホストに  
なることによる  
ノウハウ  
蓄積



個室タイプのスペース。2人までの会議やオンライン会議での利用に最適



キッチン付きラウンジスペース。会議、セミナー、各種イベントでの利用に最適

TBSテレビとのコラボ企画として、ドラマ「逃げるは恥だが役に立つ」に登場する部屋を再現。期間限定で貸し出しを行いました。今後も、企業とのコラボにより、スペースシェアのさらなる認知拡大や遊休スペースの新たな価値創造につながる企画を行っていきます。



第一弾利用期間  
7/22~7/28  
即日完売!

ドラマ「逃げるは恥だが役に立つ」の主人公、みくりと平匡が暮らす家のリビングをレンタルスペースで再現。映像の中でしか楽しむことができなかった世界観が、実空間を貸し切って体験できるように

個室型ワークブースの設置を進めるテレキューブサービスと業務提携を行い、プラットフォーム内でテレキューブが予約できるようになりました。

1都3県を中心に  
**100ヶ所**  
**170台**  
展開※

急なWEB会議・面接などに便利！

**テレキューブ** 予約なら  
**スペースマーケット**

予約・決済  
利用当日の解錠まで  
**スペース**  
**マーケットで**  
**完結**

「テレキューブ」は、防音性・遮音性に優れる、テレワークに最適な個室型ワークブース。  
隙間時間のテレワークのための場所として、鉄道駅やオフィスビルなどに設置が進んでいる

(※)2021年6月現在

スペースシェアの利用体験向上のための体制を強化することを目的として、株式会社スペースモールの発行済株式100%を取得しました。

2021年6月7日:株式譲渡契約を締結 2021年7月1日:株式譲渡を完了

### スペースシェアの認知 プラットフォームへの流入



PR施策/マーケティング施策  
シェアリングエコノミー協会の活動 等

### プラットフォーム の利用



プラットフォームの強化・改善  
カスタマーサクセスの充実  
利用者に応じたサービスの充実 等

### スペースでの体験



スペースの企画・立ち上げ・運営



これまでの取り組み



グループ参画により取り組みを強化

スペースシェアの利用体験向上のための体制を強化することを目的として、株式会社スペースモールの発行済株式100%を取得しました。

## グループ参画により実現できること

1

スペースモール社の実績・ノウハウを活かし、  
シェアリングエコノミープラットフォームの運営に加え、  
スペース運営のサービスも提供できる体制を実現



fika錦糸町 (東京都墨田区/40㎡)

2

シェアリングエコノミープラットフォームを  
スペース運営に適した状態にアップデートすることで、  
サービス利用者にとってさらなる体験価値の向上を実現



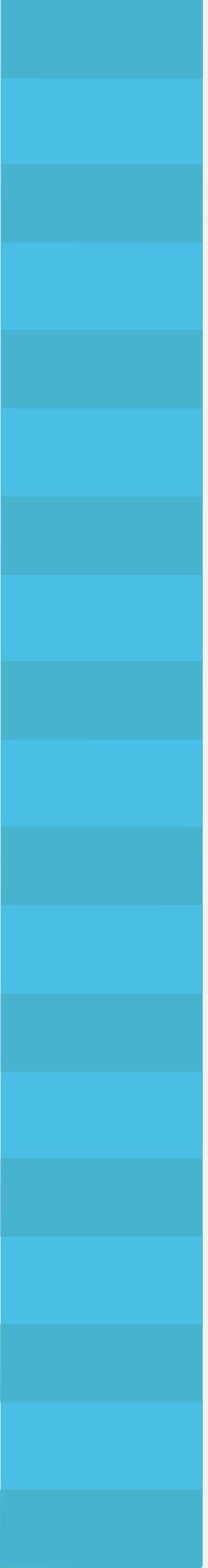
MOLE豊島園 (東京都練馬区/70㎡)

3

サービス利用者の体験価値向上により  
さらに多くのユーザーに利用いただき、スペースシェアの認知拡大、  
シェアリングエコノミープラットフォームの成長を実現

運営  
スペース数  
121件※

(※) 2021年6月7日現在



会社概要

事業の概要

決算の報告

トピックス

今後の方針

## 大人数利用は今後も厳しい見込みだが、 好調な少人数利用を伸ばすことで、コロナ禍を乗り越え成長へ

当年度は、大規模なパーティー・イベント等大人数利用の需要は依然として見通しが不透明であり、今後も厳しい環境が継続すると考えています。一方で、コロナ禍でも変わらないニーズ、コロナ禍ならではのニーズに対応した少人数利用のGMVは足元も好調で、今後も継続的に成長可能と考えています。これら少人数利用のGMVの成長をもとに、以下の通り業績予想を開示します。

KPI予想 (百万円)	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 予想	前年同期比
GMV(単体)	2,441	2,174	3,200	+47.2%

業績予想 (百万円)	(参考) 単体 2019年度 実績	(参考) 単体 2020年度 実績	連結 2021年度 予想	(参考) 前年同期比
売上高	873	804	<u>1,207</u>	+50.0%
営業損益	43	-127	<u>黒字</u>	-

## 営業損益の見込みの考え方

スペースモール社の連結化に伴う会計処理等について一部調整中であること、また、外部環境の良化が見える場合には状況に応じてマーケティング投資を強化する可能性があることから、連結業績については**売上と営業損益のみを開示し、営業損益については「黒字」の予想**とさせていただきます。

なお、会計処理を一部調整中ではありますが、下期より計上を開始予定の、のれん償却額及び新株予約権に係る株式報酬費用は予想に織り込んだ上で営業損益の黒字を見込んでいます。

## M&Aおよび連結決算について

スペースモール社の株式取得日は**2021年7月1日**のため、第**3**四半期から連結決算を開始することを前提として業績予想を開示しています。

スペースモール社の連結化に際し、最大**180**百万円の、のれんを計上予定です(年間**20**百万円~**36**百万円程度の、のれん償却額が発生予定)。

また、譲渡対価の調整に関する合意に基づき、株式会社スペースモールの**2023年12月**までの業績をもとに、追加でのれんの計上を行う可能性があります(譲渡対価の調整が発生する場合は**2024年**に実行予定)。

なお、スペースモール社の**M&A**に関する株式の当初取得対価は、**2021年7月1日**の譲渡実行時に**60%**、**1年後**に**20%**、**2年後**に**20%**の支払いを予定しています。

## その他

今回の業績予想は、新型コロナウイルス感染症に関連した経済・生活環境での大幅な停滞・制限が発生しないことを前提としています。

各KPIの成長により、サステナビリティへの貢献が進んでいます。引き続き、事業を成長させることでサステナビリティへの貢献を推進していきます。



**8** 働きがいも経済成長も  
SDGsの目標8「働きがいも経済成長も」  
テレワークなどの**様々な働き方をサポート**することで  
経済成長に貢献する



**12** つくる責任 つかう責任  
SDGsの目標12「つくる責任つかう責任」  
スペースシェアで  
**空き家・空きビルの社会課題解決**に貢献する

直近の戦略

スペースシェアのリーディングカンパニーとして

## プラットフォームのさらなる成長

世の中にはまだまだ多くのスペース、  
そして利用ニーズが存在することが見えています。

着実なスペース開拓によって掲載スペースを増やし、  
プロダクトやオペレーションの強化・改善によって  
利用ニーズをもれなく獲得することで、  
プラットフォームのさらなる成長を目指します。

中長期の戦略

利用用途に合わせた体験価値の向上にむけて

## 周辺サービスによるカテゴリエコシステム構築

スペースシェアに関わる周辺サービスは利用用途ごとに多岐にわたります。

社内立ち上げ、アライアンス、M&A等によって周辺サービスを充実させ、  
利用用途ごとにカテゴリエコシステムを構築することで  
スペースシェア全体の体験価値を高めることを目指します。

現在のプラットフォームの枠にとどまらない

## 「場所」に関する事業の高度なサービス化

「場所」に関する課題は、遊休スペースの活用で解決できるもの以外にも  
数多く存在します。

現在のプラットフォームの枠にとどまらない形で「場所」に関する事業の高度なサービス  
化を推進し、すべての人にとってさらに大きく利便性を向上させることを目指します。

**スペースマーケットはこれからも  
新たなスペース利用の可能性を創造、  
スペースシェアのモデルを確立していきます。**

## 将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

